

「白川静」を知っていますか？

中国最古の文字資料である甲骨文字を丹念にトレースして漢字の成り立ちや意味を系統立てた博士です。その独自の学説は、1900年もの長い間字源研究の聖典とされてきた後漢の許慎『説文解字』の誤りを指摘するという画期的なものでした。広汎な研究の成果は白川文字学として結実し、2004年には文化勲章を授章しました。

白川静の故郷福井県では、いち早く白川文字学に基づく独自の漢字教育に取り組み、近年めざましい成果をあげています。また立命館大学では2005年に白川静記念東洋文字文化研究所を設立し、漢字教育士の認定を始めたばかりです。

漢字を通じて、日本を含むアジアの文化を広く考えることに繋がればと思います。

太古の文字

亀の甲羅や獣の骨に刻まれた甲骨文字、青銅器の内側に記された金文。古代、文字の読者は人ではなく、神でした。

I 甲骨文字・金文

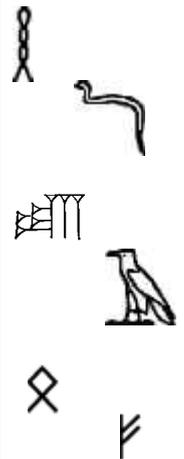
No.	書名	著者	出版者	請求記号	出版年	館
1	えもじとかんじ	藤井 國彦/監修	フレーベル館	J821/エモ	1999	中央
2	古代文字字典 甲骨・金文編	城南 山人/編	マール社	7284/54	2002	東部
3	図解入門金文を書く 基礎から作品づくりまで	二瀬 西恵/著	木耳社	7284/63	2004	東部
4	殷墟卜辞研究 新版	島 邦男/著	汲古書院	22203/36	2004	東部
5	甲骨文字に歴史をよむ	落合 淳思/著	筑摩書房	22203/60	2008	東部
6	シンポジウム中国古文字と殷周文化 甲骨文・金文をめぐって	東方書店/編	東方書店	22202/C62	1989	中央
7	図解甲骨文の書き方 千字文・部首	二瀬 西恵/著	木耳社	7284/51	2002	東部
8	象形文字遊行 文字始源	栗津 潔/編・著	東京書籍	7284/10	2000	中央

著者はグラフィックデザイナー。世界の象形文字との比較や文字の変化過程、「白川静氏への質問と対話」など、興味深いです。

II 世界の古代文字

聖刻文字ヒエログリフ、象徴的な意味を持つルーン文字…。共通点はあるのでしょうか。古代の文字はロマンに溢れています。

No.	書名	著者	出版者	請求記号	出版年	館
9	<図説>ヒエログリフ事典	マリア・カルメラ・ベトロ／著	創元社	89421/2	2001	西部
10	<図説>マヤ文字事典	マリア・ロンゲーナ／著	創元社	25603/9	2002	東部
11	世界最古の文字シュメール語入門	飯島 紀 著	泰流社	8297/24	1995	西部
12	ルーン文字 大英博物館双書 失われた文字を読む	レイ・ページ／著	学芸書林	8952/5	1996	西部
13	楔形文字 大英博物館双書 失われた文字を読む	クリストファー・ウォーカー／著	学芸書林	82971/2	1995	東部
14	華麗なるインド系文字	町田 和彦／編著	白水社	8011/24	2001	西部
15	アジアの未解読文字 その解読のはなし	西田 竜雄／著	大修館書店	8290/3	1982	西部 書庫



白川静の世界

ㇿ (サイ) の発見

「右」「告」「鳴」…、私たちが「くち」と習ってきたパーツを祈りの言葉を入れる器と読み解くことで、字義が次々とひもとかれ、古代の人々の信仰や社会のあり方まで豊かにたち現れてきます。白川静はこの器を「サイ」と名付けました。

I 白川静の著書

No.	書名	著者	出版者	請求記号	出版年	館
16	甲骨金文学論集	白川 静／著	朋友書店	222/SH83	1974	中央
17	金文の世界 殷周社会史	白川 静／著	平凡社	2220/33	1971	西部
18	甲骨文の世界 古代殷王朝の構造	白川 静／著	平凡社	2220/32	1972	西部
19	字統 新訂	参考図書 白川 静／著	平凡社	8212/12	2007	西部
20	字通	参考図書 白川 静／著	平凡社	8132/31	1996	西部
21	字訓 新訂	参考図書 白川 静／著	平凡社	8136/23	2007	西部
22	字書を作る	白川 静／著	平凡社	8212/26	2002	東部
23	呪の思想 神と人との間	白川 静／著 梅原 猛／著	平凡社	12204/10	2002	東部
24	後期万葉論	白川 静／著	中央公論社	91112/SH83	1995	中央
25	孔子伝	白川 静／著	中央公論社	124/KO84	1983	中央
26	中国の神話	白川 静／著	中央公論社	1622/SH83	1977	中央
27	文字逍遙	白川 静／著	平凡社	8212/3	1987	西部 書庫
28	文字遊心	白川 静／著	平凡社	8212/5	1996	中央
29	回思九十年	白川 静／著	平凡社	8212/19	2000	東部
30	桂東雑記 1	白川 静／著	平凡社	8212/33/1	2003	東部
31	文字講話 1	白川 静／著	平凡社	8212/29/1	2002	東部
32	知の愉しみ知の力	白川 静／著 渡部 昇一／著	致知出版社	9204/17	2001	東部

全ページ手書きの原稿に圧倒されます。

『字統』、『字訓』、『字通』はそれぞれ 74 歳、77 歳、86 歳のときに完成した字書三部作。読んで発見する字書です。

白川静92歳、梅原猛77歳。2人の学問の巨人が語る世紀の対談。

その画期的な孔子像は、諸星大二郎『孔子暗黒伝』、酒見賢一『陋巷に在り』に影響を与えたそうです。

あの『陰陽師』を描いた漫画家・岡野玲子との対談は必見です。

白川静×渡部昇一。知に遊ぶ達人2人の対談。

「自」の甲骨文字「𠄎」は鼻の象形。自分を示すのに鼻を指差すことから「自」が「みずから」の意に用いられるようになったため、のちに音符「畀」(ヒ)を加えて別に「鼻」の字が作られました。多くの国では胸を指して自分を示します。字源を考える時、漢字はただの借り物でなく、そこに共通する文化のベースがあることを思い起こさせられます。

自 𠄎

臭 嗅

「臭」は嗅覚の鋭い犬の鼻を意味し、「におい、におう、においをかぐ」ことから、「悪いにおい、くさい」意にも用いられるようになりました。旧字体は「臭」。「、」をなくした今の常用漢字では字義がすっかりわからなくなっていました。一方同じ常用漢字でも「嗅」には「、」が残り、同じ字でありながら形の違う2種が併存するという問題も起こっています。

II 蘊蓄・雑学etc.

漢字力を試すもよし、マニアックな脇道に逸れてみるのもよし。さまざまな切り口から、漢字の世界に足を踏み入れてみましょう。

No.	書名	著者	出版者	請求記号	出版年	館
53	漢字のいい話	阿辻 哲次／著	大修館書店	8212/A95	2001	西部 書庫 東部
54	知っておきたい漢字の知識	阿辻 哲次／著	柳原出版	8112/53	2005	東部
55	漢字で鍛える日本語力 2 植物や自然の漢字	金田一 秀穂／監修 青木 伸生／監修	学研教育出版	J811/かん/1	2008	中央
56	漢字の魔力 漢字の国のアリス	佐々木 睦／著	講談社	8212/61	2012	東部
57	簡化漢字一タ談 中国の漢字簡略化	葉 籟士／著	白帝社	82127/1	2005	中央
58	図説日本の漢字	小林 芳規／著	大修館書店	8112/27	1998	東部
59	古代日本文字の来た道 古代中国・朝鮮から列島へ	国立歴史民俗博物館／編	大修館書店	811/6	2005	西部
60	干支の漢字学	水上 静夫／著	大修館書店	1488/9	1998	東部
61	漢字の現在 リアルな文字生活と日本語	笹原 宏之／著	三省堂	8112/71	2011	東部
62	漢和辞典に訊け!	円満字 二郎／著	筑摩書房	8132/30	2008	東部
63	日本の漢字1600年の歴史	沖森 卓也／著	ベレ出版	8112/72	2011	東部
64	漢字の生態学 日本語を鍛える漢字力のために	川越 泰博／著	彩流社	8112/51	2005	東部
65	日本の文字のふしぎふしぎ 漢字・ひらがな・カタカナ	古藤 友子／著	アリス館	J811/コト	1997	中央
66	漢字ちよつといい話	榊 莫山／著	講談社	8212/34	2003	東部
67	一海知義著作集 10 漢字の話	一海 知義／著	藤原書店	9208/10/10	2008	東部
68	日本語漢字力がつく辞典	村石 利夫／著	東京堂出版	8112/44	2003	東部
69	NHKおもしろ漢字ミニ字典 読める!書ける!覚える! 楽しみながら漢字が身につく	柴田 道広/[ほか] 著	リヨン社	8112/E64	1988	東部
70	基礎古文書のことば 3訂版	秋山 高志／監修	柏書房	8136/19	2002	西部

麿 …この字をあてる都道府県はどこ? → P.142

日本の国字は中国語で何と読むのでしょうか? → P.180

「𠄎」って読めますか? → P.14

「城」を「キ」と読むのは百済の読み方。漢字の影響を考える時、朝鮮半島の影響も忘れてはいけません。

著者は漢和辞典の編集者。好みの漢和辞典が見つかるガイドつき。

部首・異体字・歴史・エッセイ etc. 内容は盛りだくさんです。白川静にも少しだけ言及しています。

次の字を充てる外来語は何?
①焼麩麩 → P. 272
②火酒 → P. 262

「あじけなし」に「無月星」の字をあてた日本人のセンスってかなりのものだと思います。
→ P.132



一般図書はお借りいただけます。
参考図書は館内でご利用ください。

千葉県立西部図書館
〒270-2252
松戸市千駄堀 6 5 7 - 7
TEL 047-385-4133
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp>